

3 保護者アンケート集計結果・考察

年度ごとの数値は「よくあてはまる」「ややあてはまる」を合計した割合を示す。

◎は5ポイント以上の上昇 ○は5ポイント未満の上昇

－は1ポイント未満の増減

△は5ポイント未満の下降 ×は5ポイント以上の下降 を示す。

問1 子どもは、学校の勉強に意欲的に取り組んでいる

H29 79.5% H30 77.5% R1 83.0% (◎)

肯定的な回答割合は昨年度より大きく上昇しているが、学年によっては児童の学習意欲について、十分でないと考えている保護者の方も多し。今後も「家庭学習のてびき」を活用したり、「家でもしっかり学習しよう習慣」を活用し、家庭との連携を図りながら、家庭学習習慣の確立に努めたい。

問2 子どもの学力の状況はよくわかっている

H29 87.0% H30 83.5% R1 93.2% (◎)

肯定的な回答割合は昨年度より大きく上昇しており、児童の学力状況はよく理解されている。一方、「あまりあてはまらない」との回答もみられた。今後も学校での学習・生活の様子を保護者に伝え、家庭との連携を図りながら、学力向上に努めたい。

問3 学校は、基礎的な学力定着に熱心に取り組んでいる

H29 83.8% H30 82.2% R1 84.1% (◎)

肯定的な回答割合は昨年度より上昇しており、児童アンケートにおいても、9割の児童が基礎学力の定着を実感している。今後もわかりやすい授業実践に努めるとともに、さらなる基礎学力の定着を図りたい。

問4 学校は、子どもの体力づくりに熱心に取り組んでいる

H29 83.6% H30 73.8% R1 86.4% (◎)

肯定的な回答割合は昨年度より大きく上昇しているが、学年によっては児童の体力向上について、十分でないと考えている保護者の方も多し。今年度同様、外部講師を招いたり、業間での外遊びなどを奨励することで、児童の体力づくりに努めたい。

問5 学校は、子どもの学習規律の定着に熱心に取り組んでいる

H29 81.8% H30 80.6% R1 86.4% (◎)

肯定的な回答割合は昨年度より大きく上昇しており、学力向上についての取組である日々の「当たり前のこと」が徐々に定着しつつある。今後も家庭と連携し、学習規律の定着に取り組むたい。

問6 子どもは、家庭学習（宿題）をきちんとしている

H29 88.9% H30 89.3% R1 90.9% (◎)

肯定的な回答割合は昨年度より上昇しており、児童アンケートにおいても同様の結果となっている。今年度、「家庭学習のてびき」を活用したり、「家でもしっかり学習しよう習慣」を活用し、学年通信や学校だよりを通して、家庭との連携を図りながら、家庭学習習慣の確立に努めきた。今後も、家庭学習（宿題）ができていくかどうかの確認状況や保護者の言葉かけなど、より一層家庭との連携を図りたい。

- 問7 子どもは、自分のいいところを理解している
H29 72.0% H30 64.5% **R1 58.0%** (×)
肯定的な回答割合は昨年度より減少しており、児童アンケートにおいても、(H30 83.8%からR1 80.9%)に減少している。今後も家庭と連携し、社会性の基礎となる自己有用感の育成を図りたい。
- 問8 子どもがよいことをしたときは、積極的に褒めている
H29 88.0% H30 91.2% **R1 93.2%** (○)
肯定的な回答割合は昨年度より上昇している。自己有用感とは、他者との関わりから児童が自ら感じとるものであり、「存在感」「承認」「貢献」などの要素である。このことから、家庭において、肯定的に受け入れることで育みやすくなるを考える。
- 問9 子どもは何事にも粘り強く取り組む
H29 56.9% H30 45.3% **R1 53.4%** (◎)
- 問10 子どもが粘り強く取り組めるよう、家庭でも応援している
H29 83.1% H30 80.4% **R1 86.4%** (◎)
問9、問10ともに、肯定的な回答割合は昨年度より大きく上昇しているが、児童アンケートでは(H30 86.7%からR1 84.6%)に減少している。「やる気」と「粘り強さ」の基本にあるのは、「意識」と「自己肯定感」である。「これは大切なことだからしっかりやろうと思う心」と「自分にはできる。自分は認められていると思う心」を身につけられるよう、家庭と連携を図りながら育んでいきたい。
- 問11 子どもは、自分の身の回りのことを自分でしている
H29 80.7% H30 80.4% **R1 83.0%** (○)
肯定的な回答割合は昨年度より上昇しており、児童アンケートでも(H30 80.3%からR1 87.5%)に上昇している。一方で生活上の支援を要する児童に対して、生活上の自立が図られるよう、家庭との連携を一層図りたい。
- 問12 子どもは、ルールを守る意識が育っている
H29 79.6% H30 84.5% **R1 87.5%** (○)
肯定的な回答割合は年度ごとに上昇している。集団生活を通して、マナーやルールを理解し、守ろうとする意識を育てられるよう、学校・家庭・地域で取り組んでいきたい。
- 問13 子どもは、先生、友だち、近所の人にすすんであいさつをしている
H29 62.9% H30 71.2% **R1 67.0%** (△)
肯定的な回答割合は昨年度より減少しており、児童アンケートでも(H30 93.0%からR1 86.8%)に大きく減少している。このことから、全体的には自分から進んで元気よくあいさつできる子どもたちが少ないのではないかと考えられる。保護者や地域とも連携を図りながら、いつでもどこでもあいさつが自然にできる習慣を身につけさせたい。
- 問14 子どもは、人のことを大切にして、友だちと仲良くしている
H29 92.9% H30 90.9% **R1 89.8%** (△)
肯定的な回答割合は年度ごとに減少しているが、今後も全校体制で家庭と連携を図りながら、よりよい人間関係が構築できるよう取り組んでいきたい。

問15 子どもと社会や将来のことを話し合っている

H29 58.4% H30 55.3% R1 61.4% (◎)

肯定的な回答割合は昨年度より大きく上昇している。家族との触れ合いは、児童が基本的な生活習慣、生活能力、人に対する信頼感、豊かな情操、他人に対する思いやりや善悪の判断などの基本的倫理観、自立心や自制心、社会的なマナーなどを身に付ける上で重要な役割を担うものである。さらに人生を自ら切り拓いていく上で欠くことのできない職業観、人生観、創造力、企画力等も家庭教育の基礎の上に培われるものであることから、今後とも家庭との連携を図りながら推進したい。

問16 子どもは、学校のことをよく話してくれる

H29 72.4% H30 74.1% R1 80.7% (◎)

肯定的な回答割合は昨年度より大きく上昇しており、児童アンケートほぼ同様の結果である。児童の学年が上がるにつれて、保護者と話す機会も少なくなっていく傾向にあるが、家庭で児童との会話の時間を増やせるような話題づくりができるように努めていきたい。

問17 子どもは、楽しんで学校に行っている

H29 85.8% H30 83.3% R1 89.8% (◎)

肯定的な回答割合は昨年度より大きく上昇しており、児童アンケートでも (H30 76.8%からR1 80.1%) 上昇している。学校が楽しくなる要因には、学校や家庭等の様々な状況が考えられる。学校と家庭との連携をこれまで以上に密にし、一人一人の状況を把握しながら楽しい学校生活を送れるよう支えていきたい。

問18 子どもが交通ルールを守るよう、働きかけている

H29 95.5% H30 95.0% R1 94.3% (—)

肯定的な回答が昨年とほぼ同様であるが、児童アンケートでは (H30 97.9%からR1 94.1%) 減少している。交通の危険性に対する認識がまだ十分ではないため、様々な機会を通じて、今後とも継続的に安全教育に取り組みたい。

問19 子どもと防災のことについて、家で話し合っている

H29 66.7% H30 71.0% R1 75.0% (○)

肯定的な回答が昨年より上昇している。防災教育は学校だけでなく、家庭での話し合いが重要である。いつ、どこで起こるかわからない災害に向けて、家庭や地域と連携した避難訓練等をおこなうことで、「自助」の意識を高めたい。

問20 学校は、いじめや生徒指導の問題について、素早く対応してくれる

H29 76.7% H30 76.0% R1 85.2% (◎)

肯定的な回答割合は昨年度より大きく上昇している。迅速な対応、対応過程、対応結果などに留意しながら、事案一つ一つに丁寧に対応した取組を推進していきたい。

問21 学校から、情報が十分発信されている

H29 64.7% H30 71.9% R1 83.0% (◎)

肯定的な回答割合は年度ごとに上昇しており、昨年度よりも大きく上昇している。「学校だより」「学年だより」「ホームページ」等を充実させることにより、情報のやりとりがより密になってきている結果であると考えられる。一方で、2割の保護者は十分でないと考えられていることから、さらなる「学校だより」「学年だより」「ホームページ」等の充実、様々な行事等を通じて、本校の教育

活動に対する保護者の信頼が十分得られるように努めたい。

問22 学校行事などに積極的に参加している

H29 74.7% H30 81.7% **R1 81.8%** (一)

肯定的な回答が昨年とほぼ同様であるが、問21「学校から、情報が十分発信されている」の関連項目であり、積極的に行事参加していただけるような情報発信に努めたい。

問23 子どもは進んで読書している

H29 47.3% H30 53.1% **R1 55.7%** (〇)

肯定的な回答が年度ごとに上昇しており、児童アンケートでも(H30 82.3%からR1 85.3%)上昇している。今後も、保護者の言葉かけ等、より一層家庭との連携を図りたい。

問24 子どもはインターネット(スマホ、動画等)のルールを守っている

H29 65.2% H30 55.8% **R1 64.8%** (◎)

肯定的な回答が昨年度より上昇しているが、児童アンケートでは(H30 85.3%からR1 84.6%)ほとんど変わらない結果である。保護者に対しても、今年度アンケート調査を実施したり、情報モラル教育に取り組んできた。今後も、保護者と連携しながら、取り組みたい。

問25 家庭では「早寝・早起き・朝ご飯」を心がけている

H29 83.3% H30 86.1% **R1 84.1%** (△)

肯定的な回答が昨年度より減少しているが、児童アンケート(H30 80.2%からR1 81.6%)とほぼ同様の結果である。児童の基本的な生活習慣の確立や生活リズムの向上をめざし、今後とも、家庭との連携に努めたい。

問26 学校はPTAや地域と連携して開かれた学校づくりに努めている(新設)

H29 質問なし H30 質問なし **R1 95.5%**

今年度新設の質問項目である。肯定的な回答割合は高くなっている。本校における教育活動の成果を検証し、学校運営を改善することで、保護者、地域から信頼される学校づくりをより一層すすめていきたい。

問27 学校は子どもの安全確保、健康管理のための取組を行っている(新設)

H29 質問なし H30 質問なし **R1 95.5%**

今年度新設の質問項目である。肯定的な回答割合は高くなっている。教育活動全体を通じて、安全教育、健康教育を推進するとともに、保護者、地域との連携や情報交換を密にし、児童が安心して学校生活を送れるように取り組みたい。